

③ 将来像実現のための方針

1 まもる緑 ～良好な緑と水辺を保全します～

北部山間地や小笠山丘陵地などの森林や市内を流れる河川やため池、遠州灘海岸などの自然環境、また、市街地や集落地を取り巻く丘陵地や里山、樹林地、あるいは丘陵地の茶畑や平地の水田は、本市の貴重かつ特徴的な緑であるため、今後とも保全を進めていきます。

2 つくる緑 ～うるおいや安らぎの拠点をつくります～

地域での暮らしにうるおいや安らぎを感じることができるよう、また地域コミュニティの一層の充実を図るため、公園・広場の親しみやすい水辺空間の整備等を進めます。

3 みなおす緑 ～時代のニーズに即した新しい緑のあり方を模索します～

新規公園の整備や街路樹等の維持管理等について、既存公園の利活用や再整備、維持管理の省力化、外部との協働の検討など、新たなあり方を検討するとともに、防災・減災の視点から地域の水・緑のあり方を見直していきます。

4 つどう緑 ～交流人口の増加に寄与する魅力づくりを進めます～

市内の緑と水辺の空間が、レクリエーションの拠点、地域住民のコミュニケーションの核として機能するよう、魅力づくりを推進するとともに、イベントや学習会などの開催により、つどう緑の機能の強化を図ります。

5 はぐくむ緑 ～様々な主体の協働により緑をはぐくみます～

市内の緑と水辺について、近隣住民や自治会、NPO等外部団体との協働により、適切な維持・管理が行われる仕組みづくりを進めるとともに、市民、事業者の緑と水辺の保全と創出に関する意識の向上を図ります。

緑と水辺のまちづくりの目標

緑と水辺の将来像を実現するために、次のような目標数値を掲げます。

(1) 想定人口

平成37年度	108,400人
平成47年度	100,400人

(2) 水・緑の目標水準

	地域制緑地面積	人口1人当たりの都市公園面積	緑を検討する住民会議(仮)の結成数	コミュニティガーデン設置に係る助成金の申請数	掛川市エコ・ネットワークワーキング※への参加団体数
現況	13,700.2ha	15.07㎡ (6.67㎡)	0	0	17
平成37年	現状維持	23.18㎡ (14.15㎡)	16	8	18
平成47年	現状維持	27.45㎡ (17.71㎡)	32	16	20

※環境基本計画目標値：掛川市エコ・ネットワークワーキング参画環境団体数 22団体(平成16年度)→30団体(平成27年度)

